



【白幡小学校にオリーブの木寄贈セレモニーの様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成29年4月13日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp

## チュニジア大使館から白幡小学校にじゅうたんとおリーブの木が寄贈されました

平成28年に、日本とチュニジア共和国が外交関係を樹立して60周年を迎えたことを記念し、また、横浜とチュニジアのさらなる友好・交流を祈念し、駐日チュニジア大使館から横浜市立白幡小学校（神奈川区）に、チュニジアの伝統的な手織りじゅうたんとおリーブの木が寄贈されました。

平成29年3月13日（月）、カイス・ダラジ特命全権大使を白幡小学校にお迎えし、寄贈セレモニーが行われました。セレモニーでは、6年生児童による国際理解に関する活動の発表が行われたほか、TICADVの際に一校一国運動でチュニジアと交流した当時の小学6年生（現中学3年生）も登壇し、交流を通して国際社会に関心を持つようになったことを紹介しました。



カイス・ダラジ大使からは、「今回の交流を嬉しく思います。小学校に植えたオリーブの木の根が、チュニジアの根として小学校に根付いていくことを願っています。」とお話がありました。

## ベトナム・ダナン市で JICA 草の根技術協力事業がスタートしました

本市は、ダナン市で平成29年3月に JICA 草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「家庭系廃棄物の分別促進モデル事業～ヨコハマG30/3R夢の水平展開～」をスタートしました。この事業は、IGES（公益財団法人地球環境戦略機関）とともに平成31年3月までの実施を予定しています。

本事業における1回目の現地協議のため、3月5日～9日にかけて、資源循環局及び国際局の職員を派遣しました。現地では、キックオフミーティングで事業の具体的な方針等についてダナン市関係部局と協議するとともに、既存のリサイクルルートの確認のためモデル地区や中間処理施設等の現地調査を実施しました。

また、本事業では、企業の皆様にもご参加いただき、現地派遣や視察受入時に廃棄物分野の技術やノウハウをPRしていただく場を設けることになりました。ダナン市の廃棄物課題の解決に向けた公民連携の取り組みにご関心のある企業の皆様は、是非、こちらの募集要領等をご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-jigyo/koukoku/>

## ブルキナファソ大使館が小菅ヶ谷小学校に訪問しました

平成29年3月3日（金）に、駐日ブルキナファソ大使館のアミナトウ・ウビダ・シセ文化・広報担当官（ウビダ大使夫人）が栄区の小菅ヶ谷小学校を訪問し、6年生を対象にブルキナファソを紹介する授業を行いました。

小菅ヶ谷小学校は、平成25年の第5回アフリカ開発会議（TICADV）の際、「一校一国運動」でブルキナファソについて学習して以来、ブルキナファソ大使館との交流が続いています。

今回、小学校の授業風景や伝統料理などブルキナファソの文化がスライドや写真で紹介されました。また、ブルキナファソの歌の紹介や、代表児童による民族衣装の試着も行われ、カラフルな衣装に驚きの声があがりました。最後に児童が校歌を合唱し、大使夫人にお礼の気持ちを伝えました。

